

「杉並区区民等の意見提出手続」の結果報告書

- 1 政策等の題名 杉並区耐震改修促進計画

- 2 案の公表の日 平成28年3月1日

- 3 意見提出期間 平成28年3月1日から平成28年3月30日まで
(30日間)

- 4 意見提出実績 総数2件(個人2件、団体0件)、延べ2項目
提出種別:メール1件、持参1件

- 5 お寄せいただいたご意見と区の考え方
別紙1のとおり

- 6 計画案の修正について
別紙2のとおり

- 7 問い合わせ先
杉並区都市整備部建築課耐震改修担当
電話 03-3312-2111

区民意見の概要と区の考え方

項目	意見の概要	区の考え方
第3章 耐震化促進の方針と取組		
感震ブレーカーの推進	<p>地震に強い街作り案のひとつとして、住宅密集地である杉並区全域の各家庭に感震ブレーカーの設置を進めるべきである。</p> <p>すでに促進している区もあるが、杉並区は特に築年数がかなり経過している木造住宅や古いマンションが多く密集している。戸建て・マンションを問わず補助金等で積極的に推進してほしい。</p>	<p>通電火災防止の観点から感震ブレーカー設置の重要性は区でも認識しており、感震ブレーカーのあっせん事業等を行っております。</p> <p>また、平成28年度は、特定地域における感震ブレーカーの設置支援を行っております。</p> <p>ご意見を踏まえ、感震ブレーカーについて「その他の安全対策(関連取組の推進)」に通電火災対策として記載します。</p>
助成金・助成対象地域の拡充	<p>首都直下型地震が近い将来起こる可能性が高いと考えると心配である。</p> <p>耐震改修促進のため、助成金のアップまた対象地域の拡大を切に願う。</p>	<p>首都直下地震に備え、耐震化の重要性は区でも認識しており、これまでも、区内全域を対象に耐震診断・改修助成を行ってまいりました。平成28年度からは、現状の耐震化率が低い木造住宅密集地域などを中心に、戸建て住宅や木造アパートの改修助成金の増額や木造建築物の除却助成の新設などを行い、さらに耐震改修の促進を図っております。</p>

杉並区耐震改修促進計画（案）の修正一覧

修正箇所	修正前	修正後	修正理由																																																																				
第3章 耐震化促進の方針と取組																																																																							
P.26	<p>■ 木造集合住宅の耐震化支援実績 (単位：件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>26年度</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">簡易診断</td> <td>木造集合住宅</td> <td>32</td> <td>180</td> </tr> <tr> <td>戸建住宅</td> <td>170</td> <td>1,365</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>202</td> <td>1,545</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">精密診断</td> <td>木造集合住宅</td> <td>4</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>戸建住宅</td> <td><u>756</u></td> <td><u>1,377</u></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td><u>760</u></td> <td><u>1,477</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">耐震改修</td> <td>木造集合住宅</td> <td>2</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>戸建住宅</td> <td>67</td> <td>315</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>69</td> <td>343</td> </tr> </tbody> </table>			26年度	計	簡易診断	木造集合住宅	32	180	戸建住宅	170	1,365	計	202	1,545	精密診断	木造集合住宅	4	100	戸建住宅	<u>756</u>	<u>1,377</u>	計	<u>760</u>	<u>1,477</u>	耐震改修	木造集合住宅	2	28	戸建住宅	67	315	計	69	343	<p>■ 木造集合住宅の耐震化支援実績 (単位：件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>26年度</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">簡易診断</td> <td>木造集合住宅</td> <td>32</td> <td>180</td> </tr> <tr> <td>戸建住宅</td> <td>170</td> <td>1,365</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>202</td> <td>1,545</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">精密診断</td> <td>木造集合住宅</td> <td>4</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>戸建住宅</td> <td><u>75</u></td> <td><u>696</u></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td><u>79</u></td> <td><u>796</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">耐震改修</td> <td>木造集合住宅</td> <td>2</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>戸建住宅</td> <td>67</td> <td>315</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>69</td> <td>343</td> </tr> </tbody> </table>			26年度	計	簡易診断	木造集合住宅	32	180	戸建住宅	170	1,365	計	202	1,545	精密診断	木造集合住宅	4	100	戸建住宅	<u>75</u>	<u>696</u>	計	<u>79</u>	<u>796</u>	耐震改修	木造集合住宅	2	28	戸建住宅	67	315	計	69	343	誤記による修正
		26年度	計																																																																				
簡易診断	木造集合住宅	32	180																																																																				
	戸建住宅	170	1,365																																																																				
	計	202	1,545																																																																				
精密診断	木造集合住宅	4	100																																																																				
	戸建住宅	<u>756</u>	<u>1,377</u>																																																																				
	計	<u>760</u>	<u>1,477</u>																																																																				
耐震改修	木造集合住宅	2	28																																																																				
	戸建住宅	67	315																																																																				
	計	69	343																																																																				
		26年度	計																																																																				
簡易診断	木造集合住宅	32	180																																																																				
	戸建住宅	170	1,365																																																																				
	計	202	1,545																																																																				
精密診断	木造集合住宅	4	100																																																																				
	戸建住宅	<u>75</u>	<u>696</u>																																																																				
	計	<u>79</u>	<u>796</u>																																																																				
耐震改修	木造集合住宅	2	28																																																																				
	戸建住宅	67	315																																																																				
	計	69	343																																																																				
P.29	(3) 住宅以外の建築物の耐震化の方針と取組	(2) 住宅以外の建築物の耐震化の方針と取組	誤記による修正																																																																				
P.29	(4) 区立施設の耐震化の方針と取組	(3) 区立施設の耐震化の方針と取組	誤記による修正																																																																				
P.37	<p>(4) その他の安全対策（関連取組の推進）</p> <p>平成17年8月に発生した宮城県沖地震では、スポーツ施設の天井が落下し、多くの方が負傷しました。また、平成23年3月の東日本大震災では、区内においても大谷石塀などの倒壊や屋根瓦の落下などの被害がありました。</p> <p>地震による窓ガラスや外壁の落下、ブロック塀の倒壊などによる被害を防止するための対策に取り組みます。</p>	<p>(4) その他の安全対策（関連取組の推進）</p> <p>平成17年8月に発生した宮城県沖地震では、スポーツ施設の天井が落下し、多くの方が負傷しました。また、平成23年3月の東日本大震災では、区内においても大谷石塀などの倒壊や屋根瓦の落下などの被害がありました。</p> <p>地震による窓ガラスや外壁の落下、ブロック塀の倒壊などによる被害を防止するための対策に取り組みます。</p> <p><u>また、これまでの震災の教訓から通電火災対策(感震ブレーカー)にも取り組みます。</u></p>	区民等の意見提出手続きの意見による修正																																																																				

P.38	(追記)	<p>③ <u>通電火災対策(感震ブレーカーの普及啓発)</u></p> <p><u>・阪神・淡路大震災や東日本大震災等における建物火災の約6割が、通電火災によるものとされています。通電火災を防ぐため、避難時にブレーカーを落とすなどの重要性を周知するとともに、感震ブレーカーの普及啓発に努めます。</u></p>	<p>区民等の意見提出手続きの意見による修正</p>
------	------	--	----------------------------